二次元コード
(中野区HP)

東中野駅東口周辺
まちづくり基本方針(案)

説明会

【実施日】
令和8(2026)年 7月29日(水)・8月2日(日)・8月5日(水)

中野区まちづくり推進部まちづくり計画課

◆ 本説明会でお伝えしたいこと

① これまでの検討経過

② 基本方針（案）の概要

③ 今後の予定

① これまでの検討経過

2024年3月 **骨 子** → 2025年6月 **たたき台** → 2025年12月 **素 案** → 2026年7～8月 **案(今回)** → 2026年度 **策 定**(予定)

時期	実施内容
2024年 3月	東中野駅周辺まちづくり基本方針骨子公表（議会報告）
2025年 6月	東中野駅周辺まちづくり基本方針たたき台 公表（議会報告）
〃 7月	〃 たたき台 オープンハウス及び町会・商店会向け意見交換会
〃 7～8月	〃 たたき台 意見募集（Webアンケート）
〃 12月	東中野駅東口まちづくり基本方針（以下「基本方針」という。）に名称変更。基本方針（素案） 公表（議会報告）
2026年 1月	基本方針（素案） 説明会
〃 2月	基本方針（素案） 意見募集（Webアンケート）
〃 7～8月	基本方針（案）公表（議会報告）及び説明会
2026年10月（予定）	基本方針策定

◆ 本説明会でお伝えしたいこと

① これまでの検討経過

② 基本方針（案）の概要

③ 今後の予定

② 基本方針（案）の概要

【構成】

1. 策定背景・目的
2. 本方針の位置づけ
3. 本方針の対象地域及び検討範囲
4. 上位計画及び関連計画の整理
5. まちの現況
6. まちづくりに関する地域住民等からのご意見
7. まちの課題等の整理
8. まちづくりの方針と実現に向けた取り組み
9. 基本方針策定後の進め方

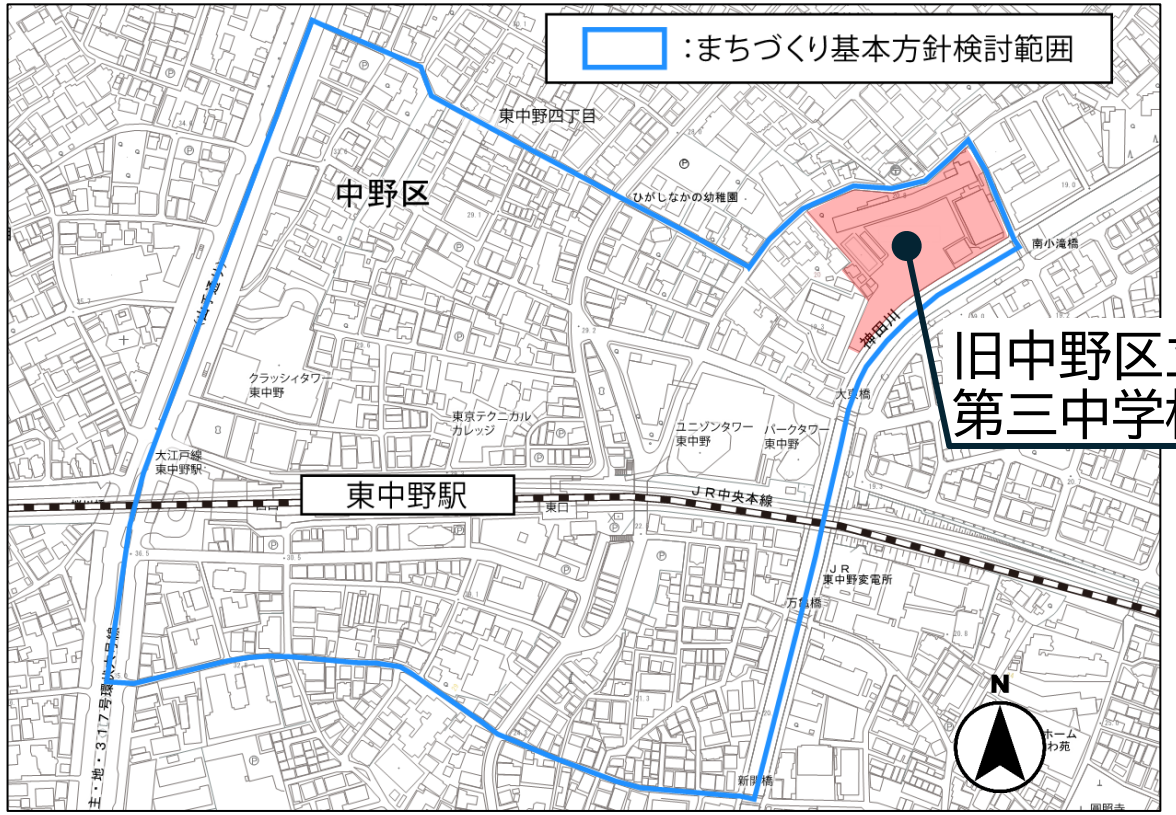
② 基本方針（案）の概要

●策定背景・目的・本方針の位置づけ

駅舎等のバリアフリー化を含め、東中野駅東口周辺地域が抱える諸課題を解決し、まちの魅力向上を図るためのまちづくりの基本的な考え方を整理することを目的とし、上位計画や関連計画等を踏まえ東中野駅東口周辺地域のまちの将来像を示すもの。

●基本方針の対象地域及び検討範囲

東中野駅東口を中心に
概ね100～200mの範囲を基本とし、道路等による地形的な区切りを考慮し、旧中野区立第三中学校跡地も含めるものとする。



② 基本方針（案）の概要

【構成】

1. 策定背景･目的
2. 本方針の位置づけ
3. 本方針の対象地域及び検討範囲
4. 上位計画及び関連計画の整理
5. まちの現況
6. まちづくりに関する地域住民等からのご意見
7. まちの課題等の整理
8. まちづくりの方針と実現に向けた取り組み
9. 基本方針策定後の進め方

② 基本方針（案）の概要

バリアフリー

●まちの現況・ご意見に基づく課題等の整理

「東口周辺がバリアフリー化されていない」

東口駅舎はエレベーターが設置されておらず、駅周辺の歩行経路にも階段や傾斜が多いため、バリアフリー対応の動線が十分に確保されていない。

「駅を挟んだ南北方向の回遊性が乏しい」

南北方向にもバリアフリー経路がないため、東口周辺の回遊が生まれにくくなっている。

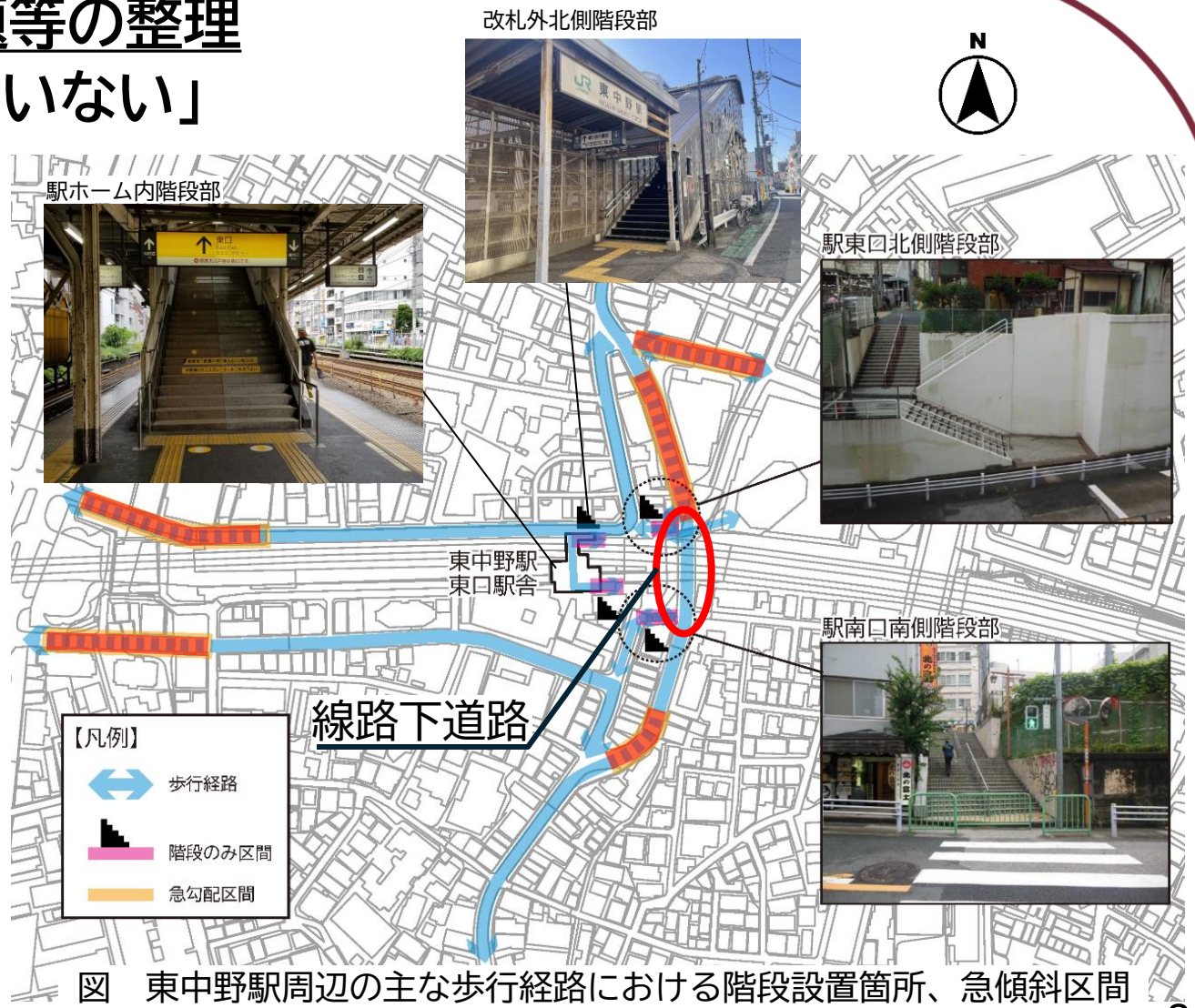


図　東中野駅周辺の主な歩行経路における階段設置箇所、急傾斜区間

② 基本方針（案）の概要

にぎわい

●まちの現況･ご意見に基づく課題等の整理

「駅周辺のにぎわいが失われつつある」

東口周辺では、商店の減少により、かつてのにぎわいが失われつつあり、駅前においては東中野らしいにぎわいを創出するための土地利用が求められている。



歩行者天国の様子（1975年頃）
（出典：でじなか[中野区立図書館ホームページ]）

「駅周辺にオープンスペースが不足している」

東中野駅周辺には様々なコミュニティが存在しお祭りなど地域住民等が主体となるイベント開催の需要があるものの、駅東口周辺には広場などのオープンスペースが存在せず、多くの人々を集めての開催が難しい状況である。

② 基本方針（案）の概要

安全・安心

●まちの現況・ご意見に基づく課題等の整理

「東口周辺における防災機能が不足している」

避難所は東口周辺地域から距離があり、災害時の避難に不安を感じる声がある。

東中野駅の１日当たりの乗降客数が約９万人いるものの、駅周辺に帰宅困難者を受け入れる一時滞在施設が存在しない。

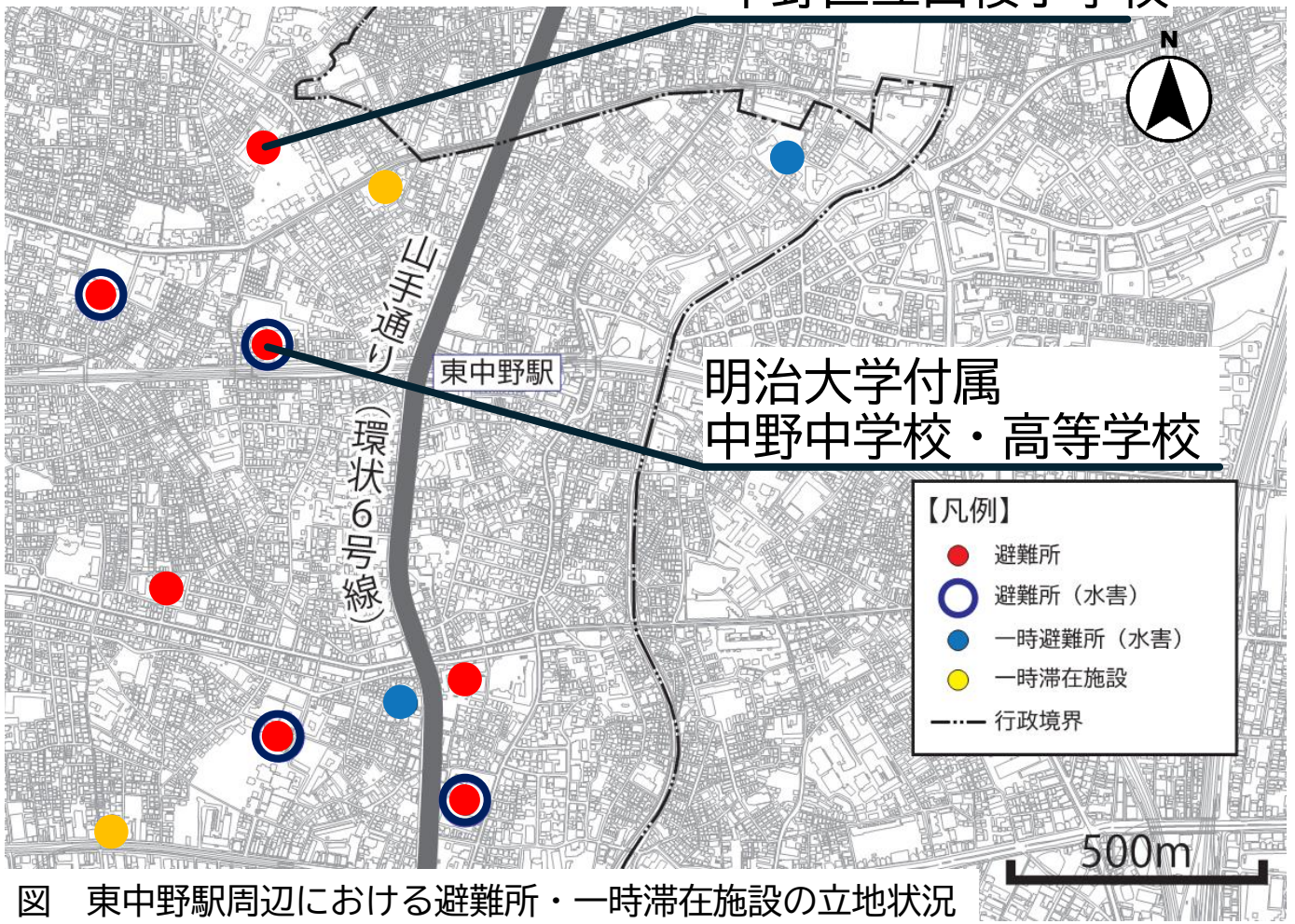


図　東中野駅周辺における避難所・一時滞在施設の立地状況

② 基本方針（案）の概要

自然環境

●まちの現況･ご意見に基づく課題等の整理

「神田川沿いの自然が豊かである」

神田川沿いには多様な樹木が植えられており、自然を身近に感じることができる。春には桜が咲き、地域住民等から親しまれている。

「対象地域に公園がない」

対象地域内には、住民が気軽に利用できる公園が確保されていない。



春の神田川沿いの様子

② 基本方針（案）の概要

住環境

●まちの現況･ご意見に基づく課題等の整理

**「都心へのアクセスに優れ、
落ち着いた住環境が広がっている」**

東中野駅は新宿駅に隣接し、駅周辺は飲食店などの商業地としてにぎわっているが、その周囲には良好な住環境の住宅地が広がっている。

**「駅周辺では
みどりが十分に確保されていない」**

神田川沿いのような自然はあるものの、まちなかのみどりは区内でも特に少ない。

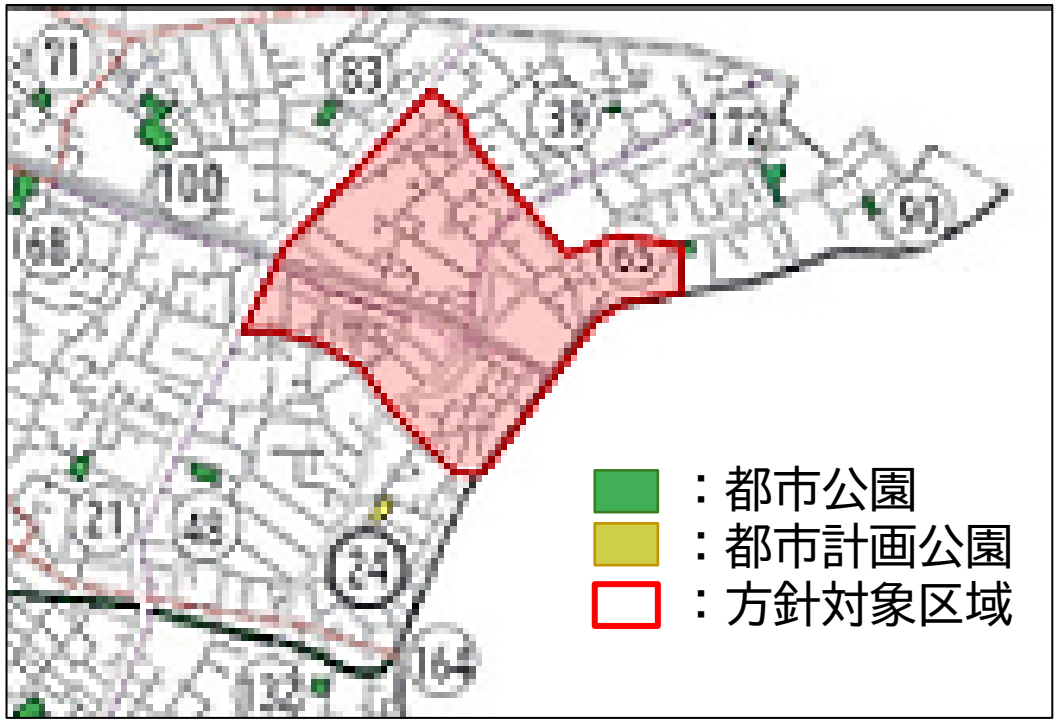


図　緑被分布図（出典：中野区緑の実態調査［第5次・2016年度実施］）

② 基本方針（案）の概要

【構成】

1. 策定背景･目的
2. 本方針の位置づけ
3. 本方針の対象地域及び検討範囲
4. 上位計画及び関連計画の整理
5. まちの現況
6. まちづくりに関する地域住民等からのご意見
7. まちの課題等の整理
8. まちづくりの方針と実現に向けた取り組み
9. 基本方針策定後の進め方

② 基本方針（案）の概要

●まちづくりの方針と実現に向けた取り組み

【目指すべきまちの将来像】

駅とまちがバリアフリー化され、

東中野らしいにぎわいと良好な住環境が共存するまち

“東中野らしい”

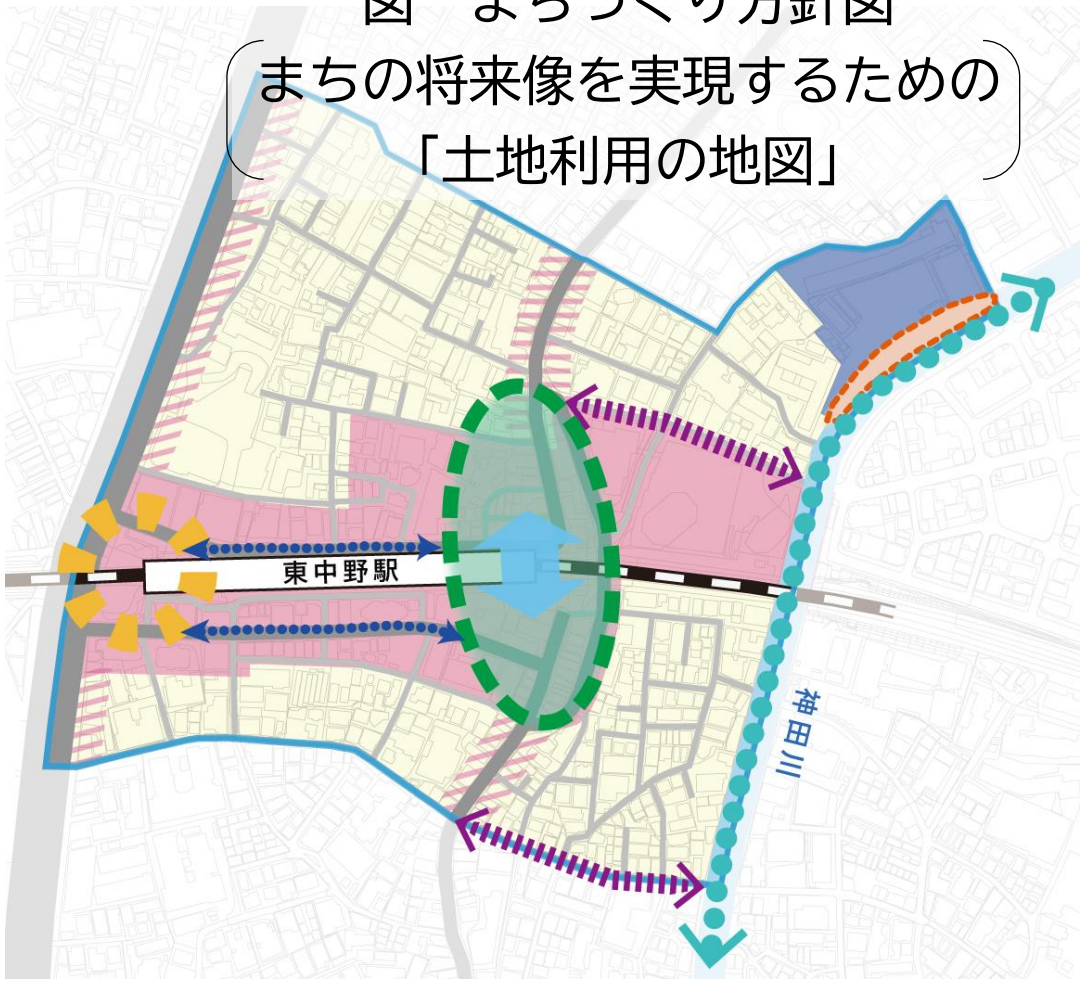
- 都心近接の交通利便性
- 適度なにぎわいを形成する個性豊かな個店、地域コミュニティ活動
- 神田川沿いの桜並木などの自然
- 静かで落ち着いた住環境と治安の良さ

② 基本方針（案）の概要

●まちづくりの方針と実現に向けた取り組み

方針1	バリアフリー化され 誰もが安全に通行できるまちづくり
方針2	東中野らしい にぎわいが生まれるまちづくり
方針3	安全で安心して 過ごせるまちづくり
方針4	水辺を活かしたまちづくり
方針5	都心に近いながらも 良好な市街地が広がるまちづくり

図　まちづくり方針図
まちの将来像を実現するための
「土地利用の地図」



- 商業・業務ゾーン
- 中層住宅ゾーン
- 住商共存ゾーン
- 公共施設等検討ゾーン
- 東口駅前拠点検討エリア
- 憩いの場検討エリア
- 西口駅前拠点エリア
- 水とみどりの親水軸
- まちとみどりの連携軸
- 南北連携軸
- 東西連携軸

② 基本方針（案）の概要

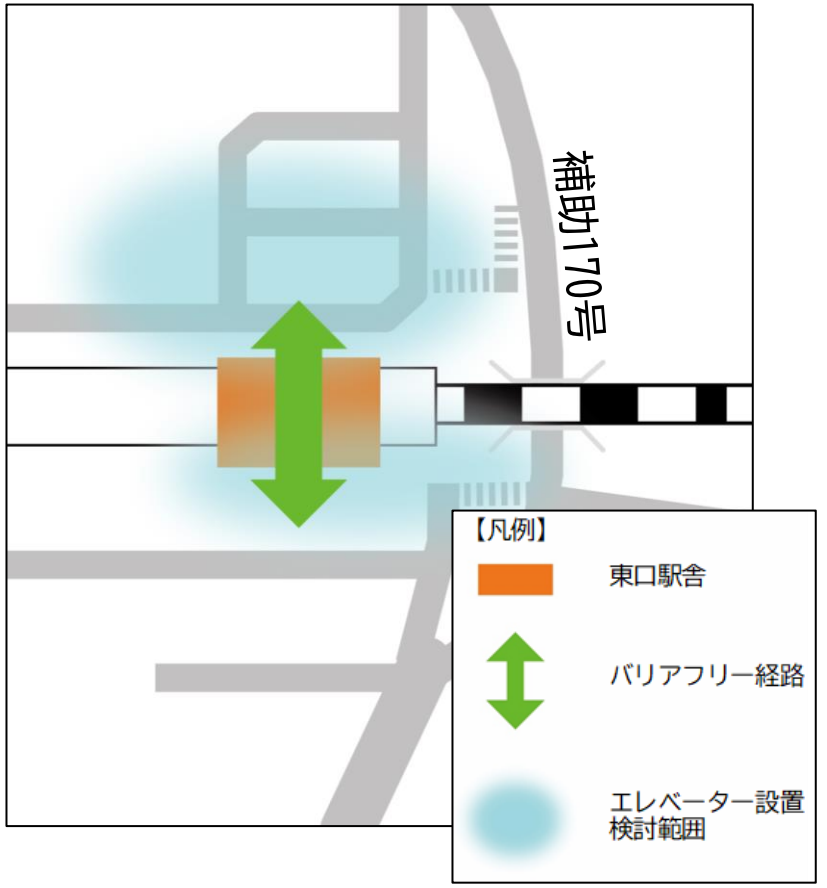
方針１　バリアフリー化され誰もが安全に通行できるまちづくり

東中野駅東口周辺のバリアフリー化を実現して、
誰もが移動しやすく安全に通行できるまちを目指します。

○実現に向けた取り組み

- 東口駅舎のバリアフリー化について、鉄道事業者をはじめとする関係者と実現に向けた方策について検討を進めます。
- 駅前広場空間の整備と併せて、東中野駅東口への階段を含む動線についてバリアフリー化を図ります。
- 駅を挟んだ南北のバリアフリー経路の確保に向け、民間と連携した整備を視野に入れながら、関係者と検討を進めます。
- 東口と西口をつなぐ東西連携軸を踏まえ、東西の回遊性・安全性を高める歩きやすいまちづくりを検討します。

図　バリアフリー経路（想定）



② 基本方針（案）の概要

方針２　東中野らしいにぎわいが生まれるまちづくり

誰でも安心して気軽に立ち寄れる居心地の良い空間を創出し、そこでの多様な人々の活動により、東中野らしい交流と暮らしの中での適度なにぎわいが生まれるまちを目指します。

○実現に向けた取り組み

- 東口駅前拠点検討エリアでは土地の高度利用化を図り、民間の都市開発等を誘導します。
- 民間の都市開発等が起こる際は、人々が集まることができるオープンスペースやゆとりある歩道状空地の確保、低層部への商業・業務機能の導入など、誰でも安心して気軽に立ち寄れる居心地の良い都市空間の創出を誘導します。
- 民間の都市開発等により創出されるオープンスペースについては、東中野の文化の一つであるお祭りなどの地域活動や、東中野らしい適度なにぎわいづくりに活用できる空間となるよう検討します。
- 主に補助170号沿いで、魅力ある街並みの形成について商店街を中心とした地域の方々と検討します。



駅前空間でのイベント例（中野区）

② 基本方針（案）の概要

方針３　安全で安心して過ごせるまちづくり

災害時にも避難や一時的に滞在ができる場所を確保し、住む人だけでなく訪れた人も安全・安心に過ごせるまちを目指します。

○実現に向けた取り組み

- 東中野駅周辺の防災機能が不足していること、また、旧中野区立第三中学校が避難所であった経緯から、跡地活用の検討の際には防災機能の誘導について検討していきます。
- 東口駅前拠点検討エリアで民間の都市開発等が行われる際は、災害発生時に帰宅困難者を受け入れる、一時滞在施設の誘導を検討します。

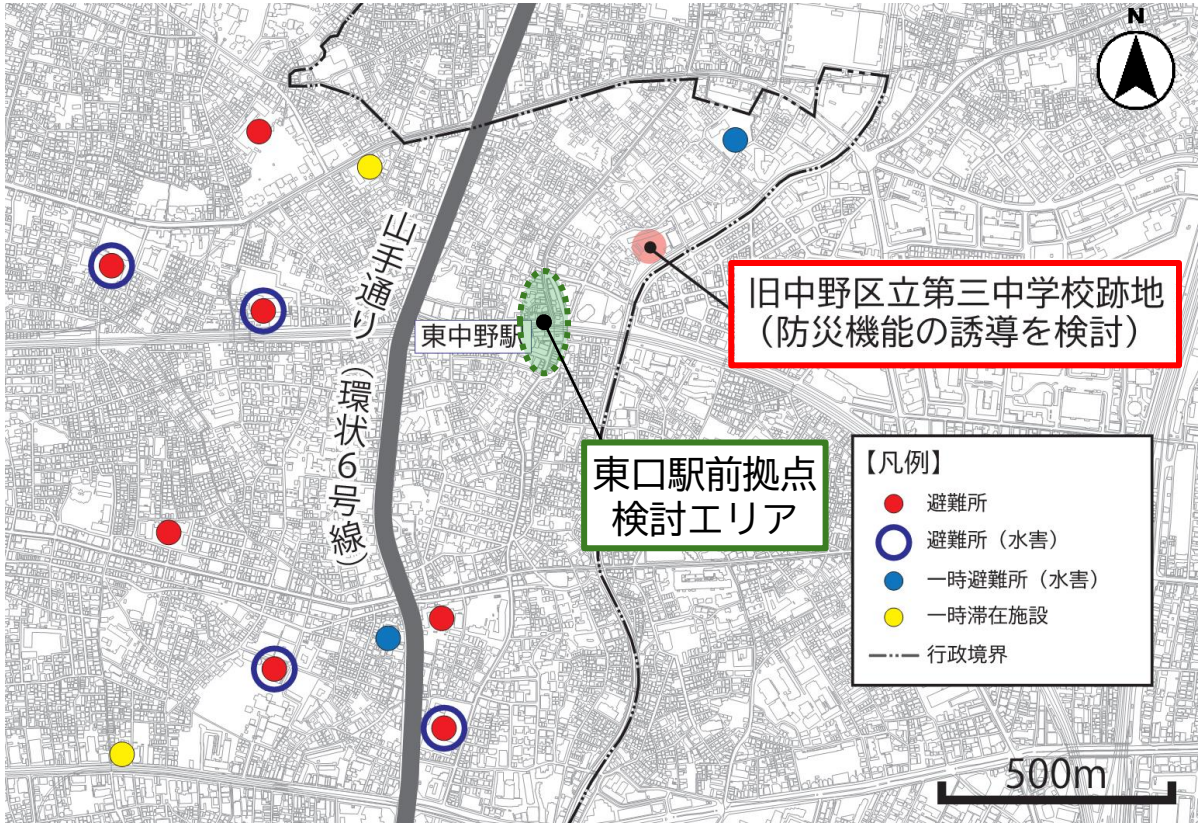


図　防災機能の誘導場所（想定）

② 基本方針（案）の概要

方針４　水辺を活かしたまちづくり

今ある魅力をさらに高めるために、地域住民の憩いの場である神田川沿いを、景観に配慮した質の高い空間にするとともに、休憩スペースや公園などを確保して、より居心地のいい水辺空間の形成を目指します。

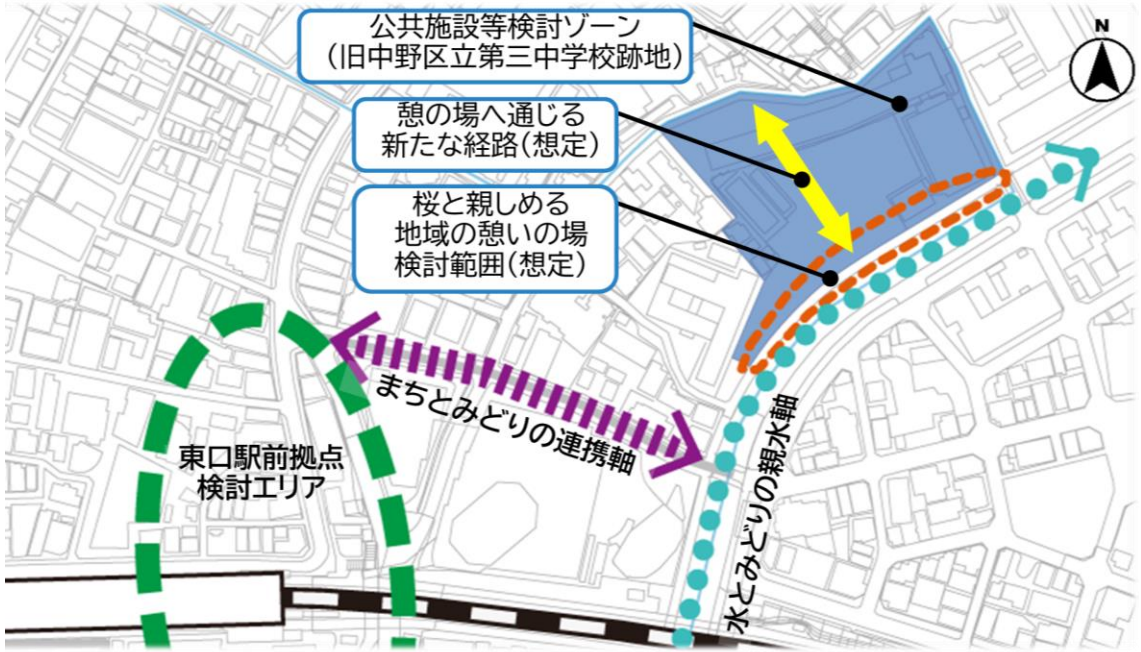


図　旧中野区立第三中学校周辺地図

○実現に向けた取り組み

- 神田川沿いは東中野地域の中でも自然豊かな場所となっており、地域住民等にとっても憩いの場となっています。春には桜が咲き、区内でも有数のフォトスポットとして知られていますが、今後はその魅力をさらに高めるために、区有施設の敷地の一部を活用して、河川沿いに公園や休憩場所などの桜に親しめる場づくりを検討します。
- 東中野駅東口周辺から神田川方面に人の流れを誘導します。にぎわいを広げていくために、景観やまちのコンセプトに配慮した誘導サイン（案内表示）を設置することを、民間とも連携しながら検討します。

② 基本方針（案）の概要

方針５　都心に近いながらも良好な市街地が広がるまちづくり

駅前通りを中心に、にぎわいを生み出しつつ、後背地に関してはこれまでの良好な住環境を維持することにより、都心に近く利便性の高い、住み心地の良いまちを目指します。

○実現に向けた取り組み

- 東口駅前拠点検討エリアで一定規模以上の民間の都市開発等が行われる際には、量を増やすだけでなく質の高い緑化による、みどり豊かで潤いのある快適な都市環境の創出を誘導します。

- 地域からの発意を受けて地区計画が策定される場合は、地域の実情を踏まえた上で緑化率等の基準を設け、まちなかのみどりを増やす取り組みを進めていきます。



民間都市開発により創出されたみどり
（中野セントラルパーク）

◆ 本説明会でお伝えしたいこと

① これまでの検討経過

② 基本方針（案）の概要

③ 今後の予定

③ 今後の予定

●基本方針(案)公表・説明会(本日開催)

基本方針(案)の全編を公開しています！

中野区ＨＰにて、基本方針（案）の
本編・概要版を公開しております。

説明会動画を後日公開します！

中野区ＨＰにて、基本方針（案）の
説明会動画を公開予定です。

二次元コード
（中野区HP）

東中野駅東口周辺まちづくり

③ 今後の予定

2024年3月 骨 子 → 2025年6月 たたき台 → 2025年12月 素 案 → 2026年7～8月 案(今回) → 2026年10月 策 定(予定)

時期	実施内容
2024年 3月	東中野駅周辺まちづくり基本方針骨子公表（議会報告）
2025年 6月	東中野駅周辺まちづくり基本方針たたき台 公表（議会報告）
〃 7月	〃 たたき台 オープンハウス及び町会・商店会向け意見交換会
〃 7～8月	〃 たたき台 意見募集（Webアンケート）
〃 12月	東中野駅東口まちづくり基本方針（以下「基本方針」という。）に名称変更。基本方針（素案） 公表（議会報告）
2026年 1月	基本方針（素案） 説明会
〃 2月	基本方針（素案） 意見募集（Webアンケート）
〃 7～8月	**基本方針（案）公表（議会報告）及び説明会**
2026年10月（予定）	**基本方針策定**

③ 今後の予定

今後は皆様への情報提供に努めながら、丁寧に意見を伺いつつ、必要に応じて地区を設定し、個別の具体的な計画を検討します。

図　まちづくり方針図（再掲）

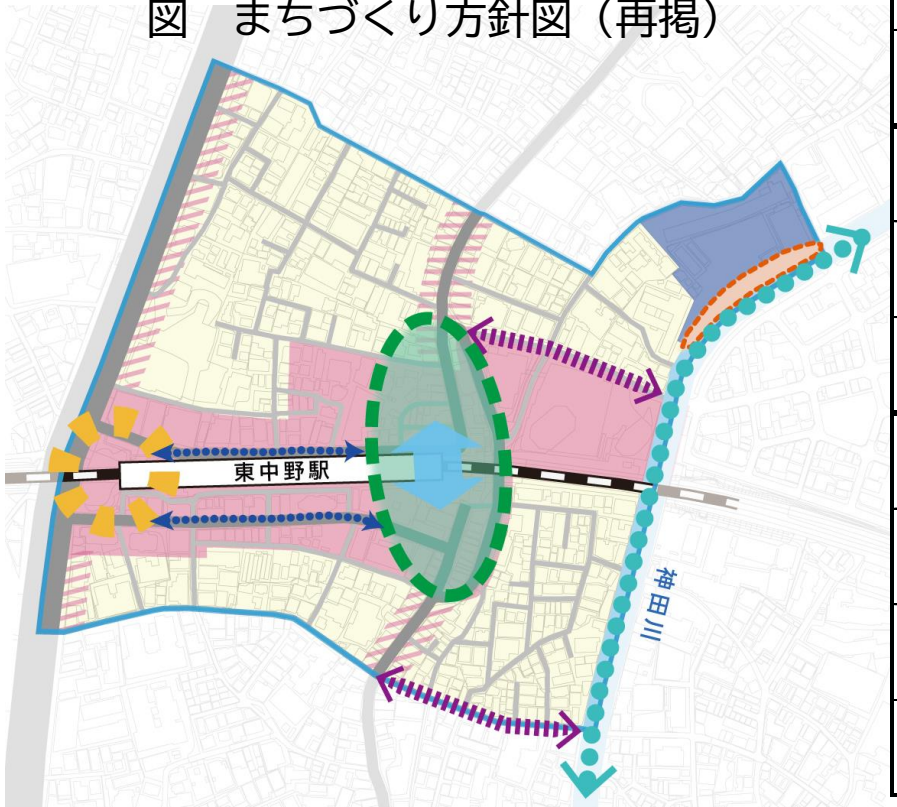


表　まちづくり方針図に示すゾーン・エリア・軸と各方針の対応表

まちづくり方針図に示すゾーン・エリア・軸	方針１（ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ）	方針２（にぎわい）	方針３（安全安心）	方針４（自然環境）	方針５（住環境）
商業・業務ゾーン		○			○
中層住宅ゾーン					○
住商共存ゾーン		○			○
公共施設等検討ゾーン			○	○	
東口駅前拠点検討エリア	○	○	○		○
憩いの場検討エリア	○			○	
西口駅前拠点エリア※整備済	○				
水とみどりの親水軸	○			○	
まちとみどりの連携軸	○			○	
南北連携軸	○				
東西連携軸	○				

ご清聴ありがとうございました

中野区まちづくり推進部
まちづくり計画課まちづくり計画係 （担当 上村、金兒）

☎03-3228-5463
✉matidukurikeikaku@city.tokyo-nakano.lg.jp